



連載

パトロネージュ・システム Q&A

第4回

本コーナーではこれまで3回に渡り「パトロネージュ室」の活動をご報告してきました。今号ではこの度の大震災を受け、私たちが改めて感じたことを綴らせていただきます。

パトロネージュより皆様へ

被災地復興のために全国各地、また世界各国で多くの方々が協力し、それぞれがどのような助けになれるのかを真剣に模索し、考えています。ボランティア活動、物資やエネルギーの提供、そして義援金の寄付や募金活動など……。私たちも音楽家集団としてできることは？と考へ、行動する毎日です。

連載の第1回で、「パトロネージュとは“寄付に関する窓口、セクション”」だと書きましたが、日々「寄付」や「チャリティ」ということが取り上げられる今、改めて“パトロネージュとは？”と考へています。

先日あるTV番組で、今回の震災への寄付に対し「寄付したお金がどのように使われ役に立つのかは気になる」という発言を聞きました。新日本フィルに寄付をしてくださる皆様も同様に「寄付したお金は本当に新日本フィルの活動に役だっているのだろうか？」と気にかかっていらっしゃるはずだと思います。いつもは寄付をお願いしている側の私たちが、寄付について見つめ直す機会かもしれません。また、パトロネージュとして「寄付をお願いします」だけでなく、活動内容、楽団の状況をしっかりご説明・ご報告することの必要性を今、改めて感じています。

いまだ緊張がとけることのない日々のなか、芸術文化を含めさまざまな催し物を中止せざるを得ない状況が続いています。演奏会を開催できる日常がいかにありがたいことであったかと実感しています。

演奏を聴いていただくことで皆様の心が潤い、音楽がエネルギーの一つとなってもらえたら大変嬉しいです。演奏会に足を運んでいただき、新日本フィルの“音”を好きになっていただくことは私たちにとっても何より大きな力となります。

新日本フィルを支えてくださる多くの方に感謝しながらパトロネージュの活動も続けていきたいと思っています。